

# シリアの声を聴く

内戦  
難民

## Voices of Syria

今わたしたちができること

Crisis  
Refugee  
Things we can do



「シリア」と聞いて何を思い浮かべますか？  
テレビやインターネットのニュースを見て、  
「なんだか大変そう」と聞き流していませんか。  
しかし、今シリアが抱えている問題は、わたしたちとは  
全く違う遠い世界で起きていることではありません。  
このシンポジウムでは、筑波大学で学ぶシリア人  
学生や中東・北アフリカ地域と交流のある日本人  
学生、研究者たちが拾い集めたシリアの人々の  
リアルな声をお届けします。  
かれらの小さな声に耳を澄ませ、  
今、わたしたちができることを考えてみませんか。

同時開催: シリア難民支援組織「イブラ・ワ・ハイト」(針と糸)  
手作りくるみボタン ワークショップ  
- I: 10:30-12:00 / II: 13:30-15:00  
- BiViつくば2F つくば総合インフォメーションセンター  
- 参加費: 500円(材料費)

### プログラム

1. 「はじめに—アラブ革命・シリア内戦・宗教—」  
岩崎真紀 筑波大学 人文社会系 助教
2. 「シリアの難民危機」  
モダル・ハサン 筑波大学大学院  
システム情報工学研究科 博士課程3年
3. 「危機下のシリアにおける文化遺産破壊の現状」  
サリ・ジャンモ 筑波大学大学院  
人文社会科学部研究科 博士課程1年
4. 「ヨルダン・ザアタリ難民キャンプに生きる  
シリアの人々の現状—2014年8月のホーム  
ステイ経験を通じて—」  
嶋田優奈 筑波大学 国際総合学類2年
5. 「日本とシリア—わたしたちはシリア難民と  
どう関わっていけるか—」  
園山明里 筑波大学 国際総合学類2年
6. Q&A (座談会形式)

- 2015/11/15 (日)
- 16:15-19:15
- つくば  
サイエンス・インフォメーションセンター  
(ノバホール隣)
- 参加費無料

主催: 北アフリカ研究センター

共催: グローバル・コモンズ機構 / チュニスオフィス / 西アジア文明研究センター

グローバルコミュニケーション教育センター(CEGLOC) / 地域研究イノベーション学位プログラム(ASIP) / 比較文化学類

お問い合わせ先: 筑波大学北アフリカ研究センター arena@un.tsukuba.ac.jp

